

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和6年4月25日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社 田浦組
所 在 地	〒852-8061 長崎県長崎市滑石2丁目6番24号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 福田 敏一
担 当 者 連 絡 先	電 話：095-856-3545 松田
	メール： k-matsuda@tauragumi.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://tauragumi.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は1946年設立以来、県内の様々な港湾工事を通じ地域の発展と住み良い社会基盤整備の一躍を担ってきました。今後はより一層、自然環境の確保及び安全安心の社会基盤整備と高い技術力を求められております。長年蓄積した経験と新しい技術を積極的に取り入れ、地域社会に信頼される企業を目指し努力していきます。
--

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	海の環境保全に向けた取組を行う	海岸施設の清掃美化活動を行うことにより環境意識向上を図る
□環境 ✓社会 □経済	職場環境の改善に向けた取組を行う	ハラスメントゼロの実現 ICT/DX を取入れ、労働時間の短縮を図る 4 週 8 休の完全実施
□環境 ✓社会 ✓経済	事業継承し次世代に繋がる取組を行う	熟練技術者の補佐に若手技術者を積極的に配置し技術継承を行う 各種団体を通じて積極的にインターンシップを行い企業の若返り化を図る

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	相談箱を設置、相談窓口の利用は匿名で行い対応している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	相談箱を設置、相談窓口の利用は匿名で行い対応している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	ICT/DXを積極的に取り入れ、業務の効率化を図り労働時間の短縮を図っている								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	年間労働安全衛生管理計画を立て労働環境の整備に取り組んでいる			3					8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	メンタルヘルス相談窓口を設置、相談窓口の利用は匿名で行い対応している			3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	定年後再雇用を行い高齢者活躍の場を整備している 女性現場補助員を採用し女性の現場での活躍の場を整備している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	資格取得に関する費用を会社が負担し、人材育成に努めている				4	5.5			8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	給与規定・人事考課に基づき、実績・能力に応じて適正な給与査定を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	長崎県と協会けんぽ長崎支部による「健康経営」宣言事業認定を受け社員の健康維持、生産性向上に取り組んでいる			3					8							
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	長崎プラスチック4R宣言事業所に登録し3Rを推進している											11.6	12.4 12.5		14.1	
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13		
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	借上げ車両について環境負荷の少ない車両を推進している							7.2 7.3					12.4	13.3		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	有害化学物質を把握し、マニフェストを用い適切に処理を行っていることを確認している			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	現場ごとに汚濁・粉塵・騒音防止対策を行い、生態系に与える影響を最小限にしている また万が一に備え油流出処理剤等を配備している					6.6										15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	自社ホームページで開示している												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2							13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO9001を取得している			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001を取得している									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	地域に与える影響(汚濁・騒音・粉塵等)を現場ごとに考慮し適した対策を行っている				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	県内(長崎市・佐世保市・西海市・諫早市・雲仙市)にて清掃美化活動を定期的に実施している				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地消、地産外商)している	県産品を可能な限り使用している							8	9		11	12	13					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	SDGsの取り組みをホームページに記載し社内でも共有し推進している								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	社外のコンプライアンス研修会により法令遵守の考えを社員へ浸透させ啓発している																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	専門部署に担当者や責任者を配置 体制を組織図で示し周知徹底している																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	各協会・団体に加入し交流を深めることにより、発注者への交渉を円滑に行っている 現場施工前の近隣挨拶、瓦版や現場見学会等で定期的な現場の進捗を発信している																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	現場ごとにリスクマネジメントを行っている 店社/パトロール時に確認し本社一体でのリスクマネジメントを行っている																16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	ISO14001取得している																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している										9		11		13			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	各種団体を通じて職員の採用活動を行い、企業の若返り化を図っている								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリー毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。）
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

令和 7 年 7 月 1 日

S D G s 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 長崎県長崎市滑石 2 丁目 6 番 24 号

名 称： 株式会社 田浦組

代 表 者： 代表取締役 福田 敏一

登録年月日： 令和 6 年 6 月 28 日

みなと S D G s パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	海の環境保全に向けた取組を行う	海岸施設の清掃美化活動を行うことにより環境意識向上を図る	島 原 港（R6.9.11）・橘 湾（R6.11.8）にて清掃活動を実施し環境意識の向上に努めている
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	職場環境の改善に向けた取組を行う	ハラスメントゼロの実現 ICT/DX を取入れ、労働時間の短縮を図る 4 週 8 休の完全実施	社内メンタルヘルス相談窓口を R6.11.11 に開設し、イントラネットで定期的に周知しハラスメントゼロの実現にむけ、活用を促している ICT/DX を活用し労働時間の短縮を推し進めている（2 現場・実施証明あり） 4 週 8 休 実 施 中（達成率 83.7%）
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	事業継承し次世代に繋がる取組を行う	熟練技術者の補佐に若手技術者を積極的に配置し技術継承を行う 各種団体を通じて積極的にインターンシップを行い企業の若返り化を図る	技術継承のため若手技術者を現場代理人・担当技術者等として配置し、熟練技術者の下、育成を行っている インターンシップを行い、高校生 4 名を受け入れた（R6.10.16～10.18）